

中国のモバイルアプリセキュリティ認証

岡山県上海事務所

今年に入り不正に個人情報が収集されるなどとし、インドやアメリカなどが中国製のモバイルアプリの使用を禁止するなど、法的措置をとる国が出てきておりますが、中国国内でのセキュリティ管理はどうなっているのでしょうか？最近の規定としては、国家市場監督管理総局が2019年3月13日に「モバイルアプリのセキュリティ認証実施規定の公告」^{※1}を公布し、同月15日より施行されました。また、国家インターネット情報弁公室が2019年11月28日に「アプリの違法な個人情報の収集使用行為認定方法」^{※2}を発表しました。今回は「モバイルアプリのセキュリティ認証実施規定の公告」について要点を簡単にお伝えします。

まず、本規定の対象はモバイルインターネットアプリケーション、すなわちスマートフォン向けのアプリとなります。

モバイルインターネットアプリ（以下、アプリ）によるユーザー情報、特に個人情報の収集・利用を規制し、個人情報のセキュリティ保護を強化するため、中華人民共和国サイバーセキュリティ法及び中華人民共和国認証・認定規則に基づき、市場監督総局及び中央インターネット情報局は、アプリセキュリティ認証を実施することを決定しました。

セキュリティ認証は、国家標準規格 GB/T35273「情報安全技术個人情報安全規範」と関連する標準、規範に準拠します。

セキュリティ認証の申請は、当該アプリの運営者で登記を済ませた法人資格を持つものを行います。ただし法令違反を犯している、過去12カ月以内に重大な情報セキュリティインシデントが発生している、一定の期間内に同類の認証が取り消されたことがある企業などは申請が出来ません。

審査は申請⇒技術検証⇒アプリ運営者の現場審査⇒認定後の監修の流れとなります。

そして、2020年6月に申請があった企業から28種類のアプリを選び審査を行い、9月に大手アプリ運営企業10社18種類のアプリにセキュリティ証明書が授与され、中国のアプリセキュリティ認証業務が正式に開始されました。認証証書の有効期限内に限り、アプリ運営者は証書をWEBサイト、事業所内、宣伝資料などに掲示することができます。

今後も順次アプリ運営会社の取得が広がり、利用者のアプリダウンロードの判断材料になるのではないかと予想されます。

※1《关于开展App安全认证工作的公告》原文

http://gkml.samr.gov.cn/nsjg/rzjgs/201903/t20190315_292035.html

※2《App违法违规收集使用个人信息行为认定方法》原文

http://www.cac.gov.cn/2019-12/27/c_1578986455686625.htm